

24年度コミ協定期総会における松田会長挨拶要旨

23年度事業の結果と今後の課題について

当コミ協は平成18年7月創立以来5年数ヶ月が経過しました。新潟市が政令都市(19年4月1日)となるに先立って、市の強い要請と援助により小学校単位のコミュニティ協議会が結成されました。

市民自治の確立を自治の基本理念(新潟市自治基本条例)とし、市民と市が対等の関係で「住み続けられる町づくり」を目指すとすことと位置づけられています。(自治基本条例第4章第2節地域に於ける協働の推進)。

コミ協の結成は私達、自治会や地域に於ける諸団体の活動に大きな影響を与えるものでした。地域全体に関わる諸問題を共同課題として市と協働で解決することの為に積極的に参加することが求められるものでした。

結成5年余の当コミ協を省みれば地域課題解決の上でも、組織運営上でも試行錯誤の連続だったと思います。それでも徐々に体制と活動を前進させてきたと思います。

23年度の事業の結果は部会を中心に進められ総体として一歩前進と言えらると思います。

組織運営では三役会が12回、役員会が4回、自治会長会議が6回、各部会が1〜3回開催されました。又保安林、飛砂問題では行政と協同の懇談会、勉強会、の二つの組織を持ち継続的な活動を続けています。部会では7部会中5部会で計画に沿った事業が進められ、活動の定着と前進がありました。活動の結果は「コミ協だより」で住民に広報しました。

これらの成果、前進は自治会役員、諸団体の幹部の皆さんの献身的な努力と創意、工夫によるもので今後には生かすことが大切と思います。

今後の課題としては

(一)自治会をはじめ各団体に於いてもコミ協についての理解を深める必要があること。

長い目で見れば未だ創生期であり「コミ協とは何か」について理解を深める継続的な努力が必要だと思います。

(二)「町づくりセンター」としての役割を担う組織に。

より良い生活環境、社会環境を目指す活動がようやくスタートした段階と思います。住民の要望を汲み上げ市・区と一緒に多様な活動が必要です。

(三)一致点で協力し合う理念と民主的運営を大切に。

自治会、各団体ともそれぞれ組織の規模も歴史も役員体制も違います。まして自治会は短期に役員交替も有ります。この様な組織の集合体としてのコミ協です。各種会議では皆が納得できる充分な議論と一致点で協力し合う活動スタイルがどうしても必要です。その為に必要な研修や交流会も大切だと思います。

(四)コミ協体制強化にご協力を。

今、どこのコミ協にも専従職員(役員)はいません。多くの役員が自治会役員、団体役員、と掛け持ちです。

市・区にはコミ協体制強化の後押しを強く要請しています。各自治会も部会員登録を積極的に進めることが必要ですし、有能

な人材発掘にご協力をお願いします。

(五)各種団体の調整・援助役を担えるコミ協に。

自治会等をベースにした各種団体(社協、日赤・等々10数団体)がありますが、組織、役員、財政、活動が必ずしも適正なものとなっていない。有名無実で形式のみ、活動の重複、財政負担、透明性、非民主的運営等多くの矛盾を抱えています。

これら各種団体にコミ協として口出し出来るものはありませんが、一部はコミ協加盟団体でもあります。求めに応じて改善のための調整や援助が必要と思っております。



平成24年度真砂コミ協

各部署事業計画一覧

(市補助金対象事業を含む)

今年度は各部署長の協力により前年に倍してのイベント計画が生まれ、コミ協会員の皆様には大変楽しみな事業計画がメジロ押しとなりました。ここに内容概略を報告します。

既に実施済みの事業もありますが、これからの実施予定には回覧等による案内も有ります。奮ってのご参加を期待して、次の通り報告します。

スポーツ部会

1 太極拳体験講習会

日程Ⅱ第1回目(通算2回目) 平成24年4月15日(日)
第2回目(通算3回目) 平成24年4月22日(日)
場所Ⅱ明倫短期大学5階講堂
(参加者実績各30名前後)
協力Ⅱ講師 山田 弘
(市スポーツ推進委員)

2 野球リーグ戦「新潟日報杯」

「新潟信金杯」への参加

期間Ⅱ平成24年5月～10月

場所Ⅱ真砂小学校グラウンド

3 「フロアーカーリング大会」

日程Ⅱ10月21日(日)

場所Ⅱ明倫短期大学5階講堂

青少年健全育成部会

1 「たこあげ大会」

日程Ⅱ平成24年6月9日(土)

午前9時30分集合

場所Ⅱ真砂小学校・たこ作り

↓4F図工・視聴覚教室

たこあげ↓グラウンド

共催Ⅱ真砂小学校PTA

2 「こま作り・こま回し大会」

日程Ⅱ平成24年7月7日(土)

午前10時

場所Ⅱ真砂小学校4F図工・視聴覚教室

共催Ⅱ真砂小学校PTA

福祉部会

1 世代交流の集い

「こどもたちと遊び隊」

日程Ⅱ平成24年8月23日(木)

午後1時半～3時半

場所Ⅱ真砂会館1階・2階

内容Ⅱ

(1) ゲーム

お手玉、あやとり、折り紙、お

はじき、メンコ

(2) 造形

紙コップ、皿などの紙製品を使

った物づくりに挑戦。アート造

り(スカイツリー等)

協力Ⅱ真砂ひまわりクラブ、子供文

化育成会(造形の講師)

募集人員Ⅱ高齢者40名(指導者7

名程度含む)

小学生40名(ひまわりクラブ在籍者

及び小学生)

2 うきうき元気塾

「うきうき元気に生きましょう」

日程Ⅱ平成24年9月15日(土)

午後1時～3時

場所Ⅱ坂井輪コミュニティセンター2階

内容Ⅱ健康増進のための講話、伝統と文

化を誇る古町芸妓の舞を観賞、体

力・気力の増進に資する。

閉会后、希望者には区健康保険課の

保健師による血圧測定や健康相談

を予定します。

募集要件Ⅱ60才以上の人80名程度

文化部会

1 「写真教室」

初歩的なカメラの知識や注意点ほか

日程Ⅱ平成24年7月22日(日)

午前10時～12時

場所Ⅱ坂井輪コミュニティセンター2階

内容Ⅱ写真鑑賞・解説・写真の撮り方基

本：良い構図や構え方、光源の位置

や撮影チャンス等、その他質問に答

えて

協力Ⅱ講師 新潟フジカラー

「アウラ」 田中 栄司

2 真砂小学校文化祭

「ふれあい広場」への参加

日程Ⅱ平成24年10月28日(日)

場所Ⅱ真砂小学校文化祭「ふれあい広

場」

内容Ⅱ写真・絵はがきを展示

3 文化講演会

日程Ⅱ平成25年2月頃の「冬季」

場所Ⅱ坂井輪コミュニティセンター

内容Ⅱ西区在住の芸術家の話を聴く。

生活環境部会

1 「飛砂防止植栽」の実施

日程Ⅱ平成24年10月下旬

～平成25年3月上旬頃

場所Ⅱ松海が丘4丁目北側国道寄り海

岸砂丘空地

協力Ⅱ(株)グリーンシグマ

目黒 修治氏

後援Ⅱ国交省・信濃川下流事務所・新潟

市西区建設課

内容Ⅱ前年に引き続き「勉強会」も開催し、

浜ニク等の植栽を実施し、行政

と「飛砂対策」を継続的に進める。

2 「私道下の下水道実態」調査

日程Ⅱ8月下旬～10月上旬

内容Ⅱ市道・私道の区分認識徹底と地下

下水道のメンテナンス認識と市へ

の委譲促進策の調査・検討。

3 「私道除雪対策」勉強会

日程Ⅱ9月上旬～12月上旬

内容Ⅱ自治会からの課題集約で提起さ

れた問題点の改善・解決を行政と共

に進めるようにする。新潟市に「除

雪基本理念」の具現化を図るべく要

望する。

防火防犯部会

1 「防犯パトロール」の実施

日程Ⅱ平成24年8月25日(土)

18時から

内容Ⅱ児童犯罪・事故防止パトロールの実施

場所Ⅱ真砂中央公園、松海公園、

佐渡見公園、寺尾中央公園、

夕焼け小針、真砂メルヘン公

演

2 市民大会に参加

「犯罪のない安心・安全な

まちづくり推進計画」の市民

大会に参加予定

広報部会

1 広報紙「真砂小学校区コミ協だ

より」の発行

日程Ⅱ(開始)平成24年4月(終

了)平成25年3月。「コミ協

だより」の取材活動(適宜)、

「コミ協だより」の編集会議

(3〜4回/期間)、「コミ

協だより」の作成、印刷、配

布

内容Ⅱ会報第12号〜14号までの

3回/年発行。

コミ協の事業等実施内容の

広報。役員会、自治会長会、

各部会等の動向報告。会報の

作成、掲載内容検討会、勉強

「第2回区政懇談会」開催

6月16日(土) 区政懇談会が坂井輪コ
ミセンで開催されました。
出席者は区役所から区長以下3名、当
コミ協から25名、テーマは事前に提出
しておいた「地域課題などの案件」4項
目について各項目毎に回答する形で進
められました。

① 「真砂小学校区に公共施設設置の要 望」

問 陳情に対する措置は如何。
答 昨年11月24日に当コミ協から要望
書を提出している。

問 24年度は真砂会館の耐震補強予
算として1600万円が計上され
た、当面は耐震補強してひまわりク
ラブと同居で今までどおり利用され
たい。工事は12月、1月ごろ2ヶ月
間くらいかかる。地域の皆さんと相
談しながらやっていく。

② 飛砂防止対策の進展状況

問 区として抜本的対策を行う手段と
政策を持つていないのか。
答 長年にわたって取り組んできたが
そのなかで植栽や防護柵等効果のあ
るものを検証し、皆さんと勉強会を
持ちながら進めていく、地道ではあ
るが植栽が有効と考えている。

③ 市道、私道区分による行政施策の違い 解消

問 (i) 冬期除雪行政(私道除雪は

自己除雪?)について。
真砂町の住民は高齢化傾向にあ
り特に大量降雪日の除雪は叶わな
い状況になっている。又当コミ協地
区は私道が多く、市道除雪との差が
あり除雪開始時間のずれもある等
除雪行政の届かない地区が多い、こ
のような状況の解消を望む。

答 (i) 私道の除雪については、マ
ンパワーと技術力が上越地区に比べ
て劣るので業者の配置換えと機械の
強化をしていく。たとえば農家のト
ラクターにアタッチメントをつける
等して利用する。

問 (ii) 地下埋設下水管、マンホール
蓋等の管理責任分界
(イ) 西区における分流式、合流式そ
れぞれの適用地域と適用基準は。
(ロ) かつて下水道が整備されなかつ
た頃自治会・住民が一部費用負担し
て設置した下水管を最近公共下水道
が敷設された際、雨水を流す管とし
て転用されたがその経緯と理由は。
(ハ) 転用された雨水管の管理は自
治会・住民が行わねばならないのか、
費用負担は、それは市道下の転用雨
水管も同じか。
(ニ) そうなれば合流式では何もしな
いで済むが分流式は負担を強いられ
ることになる、不公平ではないか、
現状は公共下水道が整備されるまで
の暫定的な整備でありいろいろなケ

ースを含めて市の管理下に置くべ
きである。

答 (ii) S40年代に整備された南側
は合流式、S50年代以降に整備さ
れた所(西区では海に近い側)は分
流式、分流式では雨水は海に排水、
私道の場合維持管理が難しくなっ
ている。

23年度は公道雨水が入っている
所は(但し10年間で3回浸水する
ところに限り)市で管理すること
にした。何らかの形で苦しんでい
る所は個人の責任にする事ではな
いので、対応していくようにする。

④ 小針十字路〜有明町交差点までの道 路拡幅政策の進展状況。

問 この地域は急坂でもあり、特に今
冬の大雪日には歩道も無く人が歩
けない危険な道路になっているの
で早急に拡幅工事を行うべきだ。
答 30〜50年前からの問題、数十億
かかるだろう。今のところ協議して
も事業認可されない。
抜本的な拡幅は現状では難し
い。この道路は重要な道路なので
積雪時はきっちり対応していく。
この後に活発な質疑応答がありまし
た。尚会議終了後真砂会館運営委員
会としても「真砂会館にかかわる地域
センターとしての公共施設建設の要望
書」を新潟市長宛に提出しました。

まさご体験教室

「たこあげ大会」

6月9日(土)に真砂小学校において、今年で3年目を迎える、まさご体験教室「たこあげ大会」を開催しました。

当日は悪天候にもかかわらず、121名(子ども73名、大人48名)もの参加がありました。

まず、図工室と視聴覚室で行われた制作では、たこの種類を例年の1種類から7種類に増やしたこともあり、それぞれがお気に入りのたこを選び、工夫しながら作っていました。その中でも難易度の高い「連だこ」に挑戦している姿が特に印象的でした。

また、大人と子どもの交流だけではなく、



く、上級生が下級生に教えている様子も見られるなど、多くのつながりができたようです。

その後、雨にもまけず、グラウンドでたこあげをしていた子どもたちの中には、50メートルの糸を一杯に伸ばすほど高くあげた子どももいました。

天気が残念ではありましたが、元気に小学校に来てくれた子どもたち、制作後、雨の中をたこを持って出かけていく子どもたちの姿は、とてもたくましく、頼もしく感じました。ご参加、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



まさご体験教室

「こま回し大会」

真砂小学校区の子どもたちとその地域の方々との交流の場としてはじめた、まさご体験教室ですが、今年は「たこあげ大会」に引き続き「こま回し大会」を7月7日(土)に真砂小学校で行い、102名(子ども60名、大人42名)の参加がありました。

紐ごまや手回しごまなど、5種類の中から好きなこまを最大で2個選んで、絵を描いたり色を塗ったりした後に回して遊びました。

初めての試みでしたが、「楽しみにしてきたんだ」「こま回しの大好き」「七夕だから星の絵を描いたんだよ。」などの声を聞くことができ、うれしく思いました。



大人も子どもも、紐ごまには悪戦苦闘しながらも、夢中になって同じ時を過ごし、回せたときの喜びを共に感じていたようでした。

今後も一層、子どもたち、保護者、地域の方々との交流が深まり、子どもたちを地域全体で見守っていけるような真砂小学校区にしていけたらと思います。ありがとうございました。



編集後記

ロンドンオリンピックの熱戦に増幅された酷暑を無事に過ごされましたか？

第12号となった「コミ協だより」は子供達と一緒に童心に返って遊んだ、健全育成部の「凧上げ大会」や「こま回し大会」、生活環境の改善を求めた「区政懇談会」等の様子を報告しました。次号もコミ協活動を中心にお伝えします。